

About us

未登記

個人事業会社
AI Knowledge Computing Assoc.
設立 2008年
代表者 佐々木 耕二

変更前登記事項

トムキャットコンピュータ株式会社
会社登記 1976年
本社所在地 東京都中野区鷺宮1-2-2
代表者 佐々木 明
資本金 3000万円
事業内容 システムソフトウェアの開発
LSIの開発

開発実績

・1984年

1984年12月14日、米国のロスアンゼルス・タイムスは、次のように報道しました。
『日本の名も知れぬ小さな会社 Tomcat Computer Incが、世界最初のPC/AT互換BIOSとLSIを開発しました。』

・1986年

世界で初めて、パソコンのアーキテクチャーにVirtual Machineの技術を導入し異なる機種同士の互換を実現することに成功しました。
(朝日新聞1986年8月27日 下の記事写真)

これは同等ソフトウェア専門のVMware社が1998年に設立される12年前のことでした。

・1987年

米国IBM社、TomcatComputerInc開発のPC/AT互換BIOSが、IBM社の著作権に抵触しないクリーンな独自BIOSであることを認めました。

世界で初めて！ Virtual Chat System

日本発！ -AIの時代のChat(対話)インフラソフト-

OpenChatAX

前世紀末、Tomcat Computerが得意とするコンピュータの基本ソフトやサーバーシステム、LSIの開発などは大手メーカーへライセンスすることがビジネスだったのですが、顧客の大手会社は当時のバブル崩壊の荒波をもろに受けてしまい小さな会社、Tomcat Computerは休業状態でした。



そして個人的にはこの間、私の5人家族の中、大病で入院しなかったのは私、ただ1人であり、あとの4人は原因はそれぞれ異なりますが、皆、生命に関わる大病で入退院していたのだから大変でした。

こういう環境で唯一良かったのは、家族に対するケア以外、気持ちが「無の状態」になり、開発に専念することができたことでした。

そして今、この苦難の中を生き延びることができ、AI活用をサポートする新しいAI Chatソフトをリリースできるまでになった、そのGoodTimingでそれを待ちかまえたかのように生成AIの本格的普及期が到来したのですから(私にとっては)まさに奇跡！
神は見捨てなかったという思いです。その幸運に感謝の気持ちであります。

このたびリリースを予定しているOpen Chat AXシステムは 急速に普及し始めたAIの有する可能性を最大限に引き出すことを目的にするとともに同時に兎角するとAIが人間にとって危険で有害な情報発信の凶器に化す恐れも懸念されていますのでそのような有害情報を未然に防ぐことを可能にしたソフトウェアシステムです。

そして、複数のAIを相互に比較、選別、組合せることでAI同士の協調的競争を実現して、次世代AIの課題である創造性の糸口を見出すことができればというのが、今後の密かな狙いでもあります。

AI Knowledge Computing Assoc.

E-Mail ctx52730@kph.one

Phone 0466-47-7648

代表者 佐々木 耕二



私たちの自慢(=日本の自慢?)

あまり注目していただけないので、敢えてここで取り上げてみましたが、私たちが一番誇りに思っているのは、実は1986年にVirtual Machineの開発に成功し、販売開始していたということです。

周知の如く、いまやすべてのコンピュータソフト関係企業はもちろん、通信や金融工学等あらゆる分野でVirtualシステムは人間の思考を助ける基本ソフトとして利用されています。世界第5位のソフトベンダー、米国VMware社が設立される1998年の実に12年も前のことです。1986年8月27日 朝日新聞にそのことが報道されています。

「トムキャット社が開発したVXシリーズは、独自開発の基本ソフト(OS)などの働きによって……仮想マシンを設定、この仮想マシンシステムは……あたかも新型機の中に古い機能が包含されているかのように動くようにした。同社はこれを異機種のパソコンソフトに初めて応用した。」

